PASONA

株式会社パソナグループ

株主通信

2013年6月1日～2013年11月30日

株主の皆さまへ

2013年を振り返って

株主の皆さまには、日頃から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は経済環境が良くなったことで企業活動にも明るい兆しが現れ、何より人々のマインドが上向きに転じました。そして最も人々の胸を躍らせたのは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定ではないでしょうか。この朗報は経済的な影響だけではなく、7年後に向けて多くの人々の心に「夢」と「希望」をもたらしてくれました。

こうした明るい話題が多い中で、私たちの事業に関わる「雇用のあり方」についても議論がなされました。そして、従来の企業に雇用を保ってもらう"雇用維持型"の労働政策から、成長分野へ積極的に人材の流動化を促す"労働移動型"へと大きく舵が切られました。これからの日本経済の発展に向け、パソナグループの社会的な責任と役割がより一層高まった1年となりました。

地域活性化事業による東北の復興支援

今期、私たちが重点課題の一つに掲げている「地域活性化事業」では、雇用創造や産業復興など各地域の課題を解決すべく、地方自治体や地元企業と連携して"地域活性プロデュース事業"を全国で手掛けています。

特に東日本大震災からの復興支援事業では、グループ社員が"復興モチベーター"として地域に寄り添い、地元の方々と信頼関係を築きながら、これまで2,600名を超える方々の就労支援を実施することができました。

震災からの復興にはまだまだやらなければならないことが数多くあります。若い人材のエネルギーも必要です。今後は、被災地の復興を考える若者を東京や他の地域に集めて、一定期間様々な経験を積んだ後、地元に帰って新たな産業や事業を興せる人材育成プログラムを実施してまいります。

日本の文化を世界に発信する「クール・ジャパン」

そして昨年は、「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことで、改めて世界から日本人の文化やライフスタイルに関心が高まりました。

今年度、パソナグループは「クールジャパン戦略」を重点課題の一つに掲げ、日本の"文化の力"で雇用の創造に取り組んでいます。昨年11月には、日本の商品やサービスを海外に発信するため設立された官民ファンド「クールジャパン機構（株式会社海外需要開拓支援機構）」に出資したほか、グループ内には「クール・ジャパン グローバルインキュベーションセンター」を立ち上げて、日系企業の海外進出を人材採用や教育研修、給与計算管理等までワンストップで提供しています。

そして10月には、日本の文化・芸術の未来を担う若い人材を育て、情報を発信する「スターライズタワー」を、東京のシンボルといえる東京タワーのすぐ隣に開設しました。

いま、日本の文化には世界から高い関心が寄せられています。マンガやアニメなどソフトパワーといわれる「文化力」によって、海外から観光客が訪れているほどです。私たちパソナグループは「新しい文化産業」を生み出すことで、新たな雇用創造と経済の活性化に貢献してまいります。

女性の活躍推進

昨年、政府の成長戦略において、「女性の就労促進」が目標に掲げられました。パソナグループは創業以来、年齢や性別、国籍に関わらず、誰もが活躍できる環境を整えてきました。その結果、昨年日本経済新聞社が実施した「人を活かす会社」の調査において、“ダイバーシティ経営”部門で、パソナグループが第1位となりました。現在、パソナグループの女性管理職（課長級以上）の割合は43%、女性役員の割合は23%です。第1子出産後の継続的就業率はほぼ100%となっています。

そして昨年は、こうした実績と経験を活かして、企業の女性活躍推進に関わるコンサルティングと働く女性のキャリアアップを支援する教育プログラムを開始しています。

私たちパソナグループの仕事は「人を活かすこと」。つまり、人々の心豊かな生活を創造する「ライフプロデュース」です。今年も、創業以来不変の企業理念「社会の問題点を解決する」に基づいて、新たな事業とサービスを整えて、これからも社会から必要とされる事業活動に取り組んでまいります。

皆さまには変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

2014年2月

代表取締役 グループ代表　南部靖之

日本の未来を担う若者の雇用を創る

パソナグループは創業間もない頃より「若者の雇用創造」に向けた様々な取り組みを行ってきました。
卒業後も進路が決まらない若者の雇用問題が深刻化する中、「学校卒業＝就社」というこれまでの就職スタイルだけではなく、多様な価値観に応じた新しい就職スタイルを提案し、若者が才能・能力を発揮できる機会を創出しています。

自分の未来は自分で創る

ギャップ社員プログラム

最長2年間パソナグループで働きながら、社会人に必要なビジネススキル、知識・教養を身に付けます。自分が本当にやりたいことを仕事にして、自分の未来に向けて挑戦する―そんな若者を応援する、働きながら学べる制度です。
目指す将来像に合わせて、「ベンチャー人材」「グローバル人材」「地域活性」「食と農業」「アニメ・音楽」などのコースが選択できます。
今後、東北復興のための雇用創造につながる仕組みとしても期待されています。

農業ビジネスで活躍するための営業力や知識を習得するほか、兵庫県淡路島で農業実習も行います

音楽分野で貢献するためのコースではコンサートを企画したり、演奏会も開催します

共通カリキュラムのビジネス基礎研修を受けるギャップ社員たち

詳しくはこちら▶▶ www.pasonagroup.co.jp/gap

雇用のミスマッチを解消

パソナフレッシュキャリア社員制度

学校卒業後、空白期間を作ることなくキャリアを作るための仕組みです。
フレッシュキャリア社員としてパソナに入社し、2900社以上のパートナー企業で就業体験。社会人としての心構えを学びながら、自分に合った仕事にチャレンジして、キャリアを磨きます。
同時に、パソナの教育研修プログラム「人材創造大学校」でも、社会人としての基本スキルはもちろん、経理、語学、営業、OAなど実務に直結する専門知識を習得することができます。

挨拶、名刺交換や電話応対などTPOに合わせたビジネスマナーを学びます

詳しくはこちら▶▶ www.pasonagroup.co.jp/f-career

全国の企業でインターンシップ

新卒者就職応援プロジェクト

全国の中小企業で職場実習（インターンシップ）を実施し、ビジネスの現場に触れながら、社会人としての基本や技術・技能を習得。パソナのキャリアカウンセラーが実習中も全力でサポートします。若者の採用に前向きな中小企業にとっては、優秀な人材を採用する機会が増加します。

中小企業庁と全国中小企業団体中央会が主催し、パソナが運営を受託している事業です。

合同説明会形式で全国の企業と学生のマッチングイベントを開催

詳しくはこちら▶▶ www.pasona.co.jp/shinsotsushien/intern_t/

障害者の就労機会の拡大に取り組み、障害者雇用を創造

パソナグループは“才能に障害はない”をコンセプトに、障害者の雇用創造に取り組んでいます。特例子会社のパソナハートフルはオフィス業務の受託はもとより、「アート」「農業」「パン製造」など、障害者の新しい職域の開拓に取り組んでいます。

「草加市障害者就労訓練農場」の指定管理を受託 ～農作業を通じて障害者の自立を支援～

パソナハートフルは埼玉県草加市の「草加市障害者就労訓練農場」の指定管理を受託しました。自治体と民間企業が農業分野で障害者の就労訓練を行うことは全国的にも珍しい取り組みです。

開所式には田中和明草加市長、南部靖之代表や深澤旬子同社社長が参加し、南部代表が「障害を持った方々が、この農場を通じてイキイキと活躍できるよう支援していきたい」と話したほか、深澤社長が農場の運営責任者、指導者、訓練生の方々に辞令を交付しました。

パソナハートフルは千葉県八千代市、流山市で「ゆめファーム」を運営しており、重度の障害を持つメンバーが農作物の栽培からキムチやジャムなどの加工品製造に取り組み、それぞれの才能・能力を活かして活躍しています。これらのノウハウと実績を活かし、農作業をはじめとする幅広い職種体験を通じて、障害者の就労に向けた訓練を行い、障害者の就労機会拡大に取り組んでいきます。

「ゆめファーム」のメンバーも農業指導や訓練のサポートを行っています

開所式の後、草加市が全国有数の生産量を誇る小松菜の植え付け式も行いました

「ゆめファーム」では野菜・米・果物を無農薬・有機栽培しています

アート村アーティストの多彩な作品をモチーフにしたオリジナルグッズが作れるオンライン販売を開始

パソナハートフルのアーティスト社員の作品をオンラインショップ「KAZARU」に提供しています。サイト上で豊富な作品から好きな絵柄を選択し、スマートフォンやタブレットのケース、マグカップなどにプリントしたオリジナル商品を購入することができます。

詳しくはこちらをご覧ください。
www.kazaru.me/pasonaheartful

パソナハートフルがビルの内部装飾をプロデュースしました

大阪パソナグループビル 第26回日経ニューオフィス賞「ニューオフィス推進賞」「近畿経済産業局長賞」を受賞

日経ニューオフィス賞は快適かつ機能的な環境を作るために創意、工夫をこらしたオフィスを表彰する制度です。

「大阪パソナグループビル」は“アートビル”のコンセプトで全館に1000点のアート村アーティストの絵画を展示。派遣スタッフやお客様、社員が心豊かに過ごせる空間を提供し、たくさんの方々が訪れています。

「大阪・光の饗宴2013」ではアート村アーティストの絵の旗が御堂筋を彩りました

パソナグループ ニュースフラッシュ

海外展開

ベネフィット・ワン 海外展開を加速

2013年10月にアジア統括拠点として伊藤忠商事との合弁会社「ベネフィット・ワン アジア」をシンガポールに設立。2014年2月には台湾最大手の電気通信事業者「中華電信」との合弁会社「中華ベネフィット・ワン」を設立しました。

今後もタイ、インドネシア等のアジア各国に「インセンティブ・ポイント事業」を軸とした福利厚生サービスを展開していきます。

ベネフィット・ワンが2012年に進出した上海で人気の高い日本料理店。インセンティブポイントが使用できます

www.benefit-one.co.jp

クールジャパン

パソナグループ「クールジャパン機構」に出資

パソナグループは官民共同で日本の魅力の海外発信を推進する「クールジャパン機構（株式会社海外需要開拓支援機構）」に出資し、社内に「クールジャパン推進室」を新設しました。

また、日本企業の海外進出を包括的に支援するため、「クール・ジャパン グローバルインキュベーションセンター」を立ち上げ、日系企業の海外事業マーケティングから、海外進出に伴う人材採用や教育研修、給与計算管理等のアウトソーシングサービスまでをワンストップで提供していきます。

Cool Japan Global Incubation Center

クール・ジャパン グローバルインキュベーションセンターとは？

海外事業企画 ＞ 海外事業の立上げ・発展

クール・ジャパン マーケティング Marketing	クール・ジャパン リクルーティング Recruiting	クール・ジャパン トレーニング Training	クール・ジャパン HRマネージメント HR Management

「グローバルインキュベーションセンター」が日系企業の海外事業展開をトータルサポートしていきます

cooljapan-gic.jp

就農支援

パソナ農援隊「アグリベンチャー大学校」開設

パソナ農援隊は、農業未経験者、新規就農希望者、農業経営者などを対象に、農業を地域振興・成長産業につなげることができる人材を育成する「アグリベンチャー大学校」を2013年7月に開設しました。

農業生産法人、農業コンサルタント、野菜ソムリエ、料理研究家など第一線で活躍する人材が講師を務めています

www.pasona-nouentai.co.jp

事業展開

パソナテック クラウドソーシング拡大に注力

パソナテックが2012年に開始したサービス「Job-Hub（ジョブハブ）」は、約5千社の企業、約1万人のコワーカーが登録しており、企業がWeb上で業務委託の仕事依頼、発注、検収、決済ができるシステムを提供しています。

2013年8月にはパソナテックを含む5社が「クラウドソーシング協議会」を発足し、クラウドソーシング業界の活性化と健全な発展を目指して、適正な価格・ルールで取引するための環境整備に取り組んでいます。

また、コワーカーの生活の安定のため、コワーキング協同組合（神戸市）と協力して「Job-Hub」を使ったマッチングや、休業時の所得補償保険のサービス化も進めています。

「クラウドソーシング協議会」の説明会には100名以上の入会希望者が参加しました

Job-Hubを利用し、子育てと両立しながら自宅で仕事を請け負うコワーカー

www.pasonatech.co.jp

「スターライズタワー」から世界に向けて新しい日本文化（Cool Japan）を発信・創造していきます

STAR RISE TOWER

文化発信

「スターライズタワー」をオープン

東京タワーに隣接するスタジオ内に、若手アーティストの夢の実現を支援する「スターライズタワー」を2013年10月にオープンしました。
様々な芸術分野のオーディションやイベント等を誘致し、若手アーティストが自らの才能を披露する場として展開していきます。若手アーティストが集い、情報発信する場を提供することにより、新たな仕事を創造し、アーティストの活躍の場を広げていきます。

オープニングセレモニーでは、兵庫県淡路島で展開する「ここから村」の若手アーティスト「鼓々（ここ）」の和太鼓パフォーマンスも披露されました

starrise-tower.com

介護事業

パソナライフケア「デイサービス江戸川邸」開設

東京都江戸川区南葛西に、パソナライフケアとして東京都内で清澄白河に次ぐ2ヵ所目となる通所介護施設「デイサービス江戸川邸」を2013年11月に開設しました。

今後も介護保険サービスを拡充し、地域の方々が安心して生活できるよう支援していきます

www.pasona-lc.co.jp

教育研修

キャプラン「おもてなしクルー」開始

キャプランは、国内で6,000社以上の教育研修を実施したノウハウを活かして、キャビンアテンダント経験者を対象にしたセカンドキャリア支援プログラム「おもてなしクルー」を開始しました。
語学や柔軟な対応力に優れ、国籍や年齢等を問わず多種多様なお客様の接客を経験してきたキャビンアテンダント経験者が、高いコミュニケーションスキルを活かして第2のキャリアを構築できるよう支援していきます。

キャプランの教育機関「プレゼンスアカデミー」による秘書業務等のスキル向上を目指す研修のほか、キャリアカウンセラーが個別にキャリア相談や仕事紹介を行います

www.caplan.jp

受賞

パソナグループ「ダイバーシティ経営」で首位

パソナグループは創業以来、年齢・性別・国籍・雇用形態の違いや障がいの有無に関わらず社員が活躍できるステージを用意し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に発揮するための各種人事施策を立案・実施して、ダイバーシティ（多様性）を推進してきました。
そしてこの度、日本経済新聞社が実施した「人を活かす会社」調査の「ダイバーシティ経営」の項目で首位に選ばれました。

順位	社名
1	パソナグループ
2	イオン
3	日立製作所
4	サトーホールディングス
5	トッパン・フォームズ

出典：日本経済新聞社「人を活かす会社」調査
※回答した436社の回答を点数化

www.pasonagroup.co.jp

業績概況

2014年5月期第2四半期 連結業績

売上高

1,026 億円（前年同期比 △0.3%）

- 売上高は前年同期とほぼ同水準でした。
- アウトソーシング、インソーシング（委託・請負）、グローバルソーシング（海外人材サービス）などが増収となりました。
- 一方、エキスパートサービス（人材派遣）は回復基調にあるものの、派遣職種の適正化影響を受けた自由化職種において、期間制限による終了が増加したことにより、増収には至りませんでした。

営業利益

10.4 億円（前年同期比 +45.3%）

- アウトソーシングやグローバルソーシングの増収により粗利率が改善し、売上総利益が+1.8%増加しました。
- 販管費は一部下期に期ずれしたこともあり前年同水準に抑えられた結果、営業利益は大幅に増加しました。

四半期純損失

△0.3 億円（前年同期は四半期純損失 △4.5億円）

- 四半期純損失となったものの、前年同期と比較して大幅に改善しました。

セグメント別業績

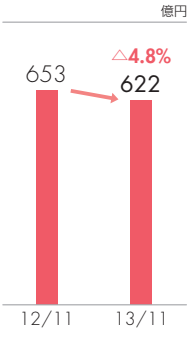
エキスパートサービス（人材派遣）

売上高 **622 億円**

幅広い業界で受注が増加し、足元の業績は回復

- 景気回復を受け、金融やメーカーをはじめ幅広い業界で受注が増加しました。
- NISA※対応で金融事務の需要が引き続き増加し、IT関連などの専門職派遣も堅調でした。
- ジャックスの子会社だったサポートの完全子会社化、富士火災海上保険の子会社である富士火災ビジネスソリューションズの人材派遣事業の譲り受けなど、専門人材と顧客基盤を拡充しました。

※少額投資非課税制度

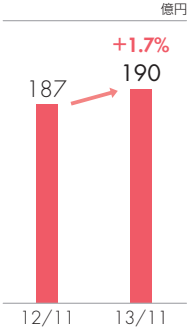


インソーシング（委託・請負）

売上高 **190 億円**

サービス領域が拡張し、民間企業からの受託が増加

- 企業の業務効率化やコスト削減等の成果が評価され、同一企業内での追加受託が増加し、サービスの横展開が拡大しました。
- 派遣からインソーシング、さらにBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）へとサービス領域が拡張したほか、クラウド技術を活用した案件も増加しました。
- 官公庁・自治体等のパブリック分野は、予算終了に伴って緊急雇用案件が減少したものの、行政事務代行の受託が順調に拡大し粗利率の改善が進みました。



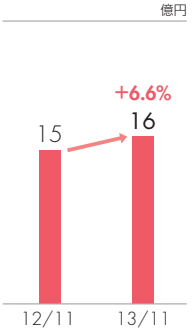
売上高 ■　営業利益 ■
※増減率は前年同期比

プレース&サーチ（人材紹介）

売上高 **16** 億円

幅広い業界で人材採用意欲が高まり、受注が増加

- 企業業績の回復に伴い、生産設備やITインフラへの投資なども増加したことから、IT関連や製造業をはじめ幅広い業界で求人が増加し、受注が高水準で推移しました。
- 求人増に対応し、Webリニューアルなどにより人材募集を強化しました。
- キャリアコンサルタントを増員して、きめ細かいカウンセリングに注力しました。

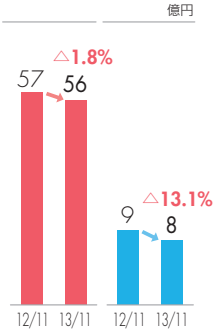


アウトプレースメント（再就職支援）

売上高 **56** 億円　営業利益 **8** 億円

景気回復により受注は本来の水準に落ち着き、減収減益

- 前期は円高や企業収益の悪化等により受注が高水準で推移しましたが、当期は本来の水準に戻りました。
- 一方で、生産拠点の海外移転や企業の事業構造の変化に伴う需要が下支えしました。
- 新規求人開拓に注力し、再就職決定の早期化は続きましたが、営業戦略上、全国を網羅する拠点等を維持したことなどから、原価率が上昇しました。

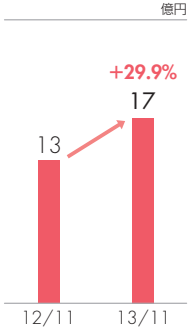


グローバルソーシング（海外人材サービス）

売上高 **17** 億円

海外における日系企業の人材需要が堅調に推移し、伸長

- 北米の景気改善に伴う日系メーカーの再進出や、ASEANへの生産拠点移転などにより、人材派遣、人材紹介が拡大しました。
- 駐在員の給与計算・労務の一括管理や採用代行などのアウトソーシングサービスにおいても、顧客の日本本社と現地法人双方のニーズを汲み取った営業戦略が奏功しました。
- 為替が円安に推移した影響もあり増収となりました。

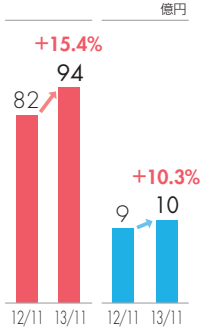


アウトソーシング

売上高 **94** 億円　営業利益 **10** 億円

ベネフィット・ワンが堅調、ヘルスケア事業も寄与

- 主力の福利厚生事業はメニュー拡充により会員が順調に増加しました。
- 報奨金等をポイント化して管理・運営するインセンティブ事業も堅調に推移しました。
- 取引先と協働で個人顧客向けサービスを展開するパーソナル事業の会員が順調に増加しました。
- 健診予約代行から特定保健指導までのワンストップサービスを提供するヘルスケア事業も増収に大きく寄与しました。



重点戦略の進捗

❶ ソリューションサービスの深化

- **派遣からインソーシング、BPO化の推進＋クラウドソリューションの開始**
  - クラウド技術「セールスフォース」を活用したサービスプラットフォーム作りや、専門技術人材の育成を強化しています。
  - SAPジャパンとキャプランが人事業務のクラウドソリューション分野で特別協業を開始しました。

❷ エンプロイーソリューションの強化

- **専門職種領域の伸展**
  - 女性のキャリアアップを支援する「WOMEN'S CAREER COLLEGE」を開講しました。
  - キャリアに直結する「経理事務エキスパート検定」を日本CFO協会と共同開発しました。

- **働きやすい環境づくりの推進**
  - 保育・介護分野では、働く女性をサポートするため、パソナフォスターが新規大型保育施設の運営を受託、パソナライフケアは新デイサービス施設を開設しました。

2013年12月にパソナフォスターが都内の大型保育施設の運営を受託しました

❸ グローバルサービスの更なる拡大

- **新規海外拠点の展開**
  - ベネフィット・ワンがシンガポールに伊藤忠商事との合弁会社を設立、2014年2月には台湾最大手の電気通信事業者「中華電信」と合弁会社を設立するなど、アジア進出を加速しています。
- **グローバルサービスメニューの拡充**
  - 現地の販売スタッフ向けの日本流「おもてなし研修」が増加したほか、幹部向けマネジメント研修や、企業・大学向けの香港滞在型研修など、海外での研修事業を強化しました。

セグメント別業績（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	営業利益
HRソリューション	101,563	2,935
エキスパートサービス（人材派遣）、インソーシング（委託・請負）他	86,482	1,173
エキスパートサービス（人材派遣）	62,198	
インソーシング（委託・請負）	18,967	
HRコンサルティング、教育・研修他	2,036	1,173
プレース&サーチ（人材紹介）	1,558	
グローバルソーシング（海外人材サービス）	1,720	
アウトプレースメント（再就職支援）	5,644	796
アウトソーシング	9,436	965
ライフソリューション パブリックソリューション シェアード	2,547	8
消去又は全社	△1,492	△1,905
合 計	102,619	1,038

2014年5月期 連結業績見通し

- エキスパートサービスは、派遣職種の適正化影響による契約終了も足元では落ち着いてきており、受注も堅調に推移していることから、下期に向けて回復すると見ています。
- インソーシングは新規案件が増加、プレース&サーチも堅調な状況が続いています。
- 一方、利益面は、アウトプレースメントにおいて再就職決定の早期化等により利益が前倒しで計上されたことや、販管費の一部が下期に期ずれしたことなど、いずれも通期では影響がないため、2013年7月12日公表の業績予想を据え置きます。

連結業績予想

（億円）

	2013年5月期実績	2014年5月期予想	前期比
売上高	2,077	2,220	+6.9%
営業利益	32	34	+8.0%
経常利益	32	33	+4.2%
当期純利益	6.1	4.8	△21.4%

連結財務報告

（百万円）

	前第2四半期 （自2012年 6月 1日 至2012年11月30日）	当第2四半期 （自2013年 6月 1日 至2013年11月30日）
売上高	102,976	102,619
売上総利益	19,070	19,410
販売費及び一般管理費	18,355	18,372
営業利益	714	1,038
経常利益	692	961
四半期純損益	△454	△25

	前期末 2013年5月31日現在	当第2四半期末 2013年11月30日現在
総資産	71,276	68,524
負債	45,022	42,781
純資産	26,253	25,743
自己資本比率	29.3%	29.9%

主な増減は現金及び預金の減少4,894百万円、受取手形及び売掛金の増加1,149百万円等

主な増減は買掛金の減少1,029百万円、未払法人税等の減少754百万円、退職給付引当金の減少211百万円等

主な増減は四半期純損失25百万円、配当金の支払額374百万円、少数株主持分の減少89百万円等

	前第2四半期 （自2012年 6月 1日 至2012年11月30日）	当第2四半期 （自2013年 6月 1日 至2013年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	△681	△2,197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,001	△2,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,688	△312
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,561	15,083

主な増減は税金等調整前四半期純利益920百万円、減価償却費1,219百万円、売上債権の増加985百万円、営業債務の減少1,018百万円、法人税等の支払額1,317百万円等

主な増減は固定資産の取得による支出1,087百万円、投資有価証券の取得による支出859百万円、子会社株式の取得による支出355百万円等

主な増減は長期借入れによる収入2,000百万円、長期借入金の返済1,291百万円、配当金の支払額729百万円等

株式情報（2013年11月30日現在）

株式の状況

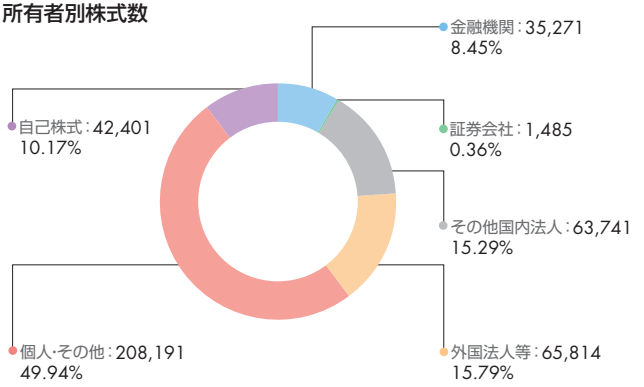
会社が発行する株式の総数: 1,500,000株※

発行済株式総数: 416,903株※

株主数: 7,794名

※2013年12月1日をもって、当社株式を1株につき100株の割合で分割するとともに、単元株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。

所有者別株式数



株主（上位10名）

	所有株式数	持株比率
南部靖之	147,632株	(35.41%)
株式会社パソナグループ（自己株式）	42,401株	(10.17%)
株式会社南部エンタープライズ	37,378株	(8.97%)
ゴールドマンサックスインターナショナル	17,961株	(4.31%)
株式会社サンリオ	11,885株	(2.85%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	10,045株	(2.41%)
CMBL S.A. Re Mutual Funds	9,510株	(2.28%)
パソナグループ従業員持株会	6,416株	(1.54%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	5,550株	(1.33%)
State Street Bank-West Pension Fund Clients-Exempt	4,825株	(1.16%)

※自己株式42,401株（発行済株式総数に対する所有割合10.17%）は、会社法第308条第2項の規定により議決権を有しておりません。

役　員

代表取締役グループ代表	南　部　靖　之
取締役会長	竹　中　平　蔵
取締役専務執行役員	深　澤　旬　子
取締役専務執行役員	山　本　絹　子
取締役専務執行役員	若　本　博　隆
取締役常務執行役員	仲　瀬　裕　子
取締役常務執行役員	上　斗　米　明
取締役	佐　藤　　司
取締役	森　本　宏　一
取締役	渡　辺　　尚
取締役	白　石　徳　生
社外取締役	平　澤　　創 *1,3
社外取締役	後　藤　　健 *1,3
常勤監査役	堺　　精　一
社外監査役	舩　橋　晴　雄 *2,3
社外監査役	松　浦　晃一郎 *2,3
社外監査役	野　村　周　央 *2,3

*1 取締役の平澤創氏、後藤健氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
*2 監査役の舩橋晴雄氏、松浦晃一郎氏、野村周央氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。
*3 平澤創氏、後藤健氏、舩橋晴雄氏、松浦晃一郎氏、野村周央氏は東京証券取引所の定めに基づく独立役員です。

会社概要

社　名	株式会社パソナグループ(Pasona Group Inc.)
本　社	〒100-6514 東京都千代田区丸の内1 - 5 - 1 新丸の内ビルディング
グループ本部	〒100-8228 東京都千代田区大手町2 - 6 - 4
創　立	1976年 2月16日
設　立	2007年 12月3日
資本金	50億円
事業内容	人材関連事業を行うグループ会社の経営戦略策定、業務支援、経営管理ならびに雇用創造に係わる事業開発等

株式会社パソナグループ
Tel. 03-6734-0200(代)
www.pasonagroup.co.jp

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C014911 FSC www.fsc.org

VOC FREE for Waterless printing

この株主通信は「FSC®認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用しています。

株主メモ

証券コード	2168
事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月
株式売買の単位	100株*
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部
公告方法	電子公告　www.pasonagroup.co.jp/ir ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
(電話照会先)	0120-288-324(フリーダイヤル)

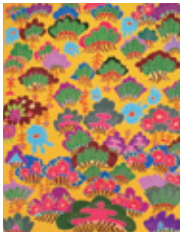
* 2013年12月1日をもって、当社株式を1株につき100株の割合で分割するとともに、単元株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。

パソナグループIRサイトのご案内

パソナグループについてより深くご理解いただくために、個人投資家の皆さまに向けたIRサイトをオープンしました。
会社情報や決算情報など事業や業績に関する基本情報をまとめています。
是非ご覧ください。

www.pasonagroup.co.jp/ir/personal

IRサイトでは情報をタイムリーにお知らせするメール配信のご登録を受け付けています。



表紙の絵:「琉球紅型」

田中 正博(知的障害)

パソナグループのアーティスト社員として絵を描くことを仕事にしています。物の形を素直に捉え、ユーモラスな独特の線で描きます。今回は沖縄の伝統文化である「琉球紅型」に挑戦しました。
「沖縄の王族の色、黄色地の紅型を描きました。作品が大きかったので塗るのが大変でしたが、沢山の綺麗な色が使えて楽しかったです。これからも自分らしさが出せる絵を描いていきたいです。」(本人談)

パソナグループは「才能に障害はない」のコンセプトのもと、1992年に「アート村」をスタートして以来、アートを通じて障害者の社会参加を支援しています。アート村アーティストの作品を使った様々なオリジナル商品を企画し、企業のCSR活動のお手伝いをしています。